

文化を創る、フラッグシップ。

2025 冬

GRANSHIP

グランシップマガジン vol.40



特集1

2024年しずおか連詩の会

特集2

グランシップ登録アーティスト

GRANSHIP グランシップマガジン vol.40 2024年12月15日発行

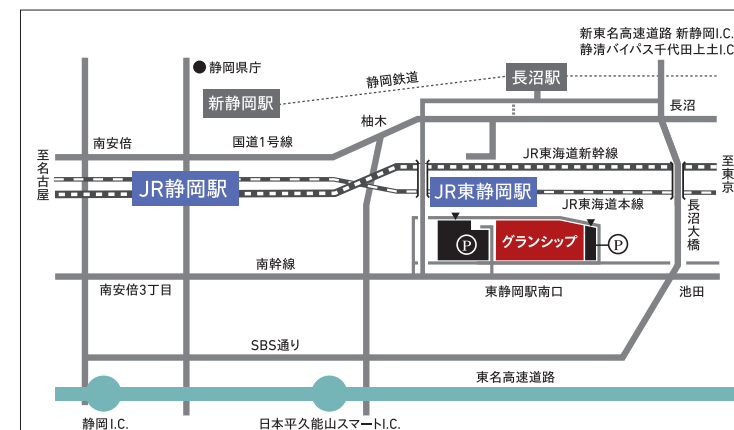
公益財団法人 静岡県文化財団

GRANSHIP サポートーズEYE



グランシップ ジャズ・ロックライブ fox capture plan × bohemianvoodoo

撮影サポーター: 渡邊 武志



ACCESS

- JR東静岡駅南口隣接
静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- 東海道新幹線(ひかり)で
東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
- 車では東名高速道路 静岡I.C.から20分
日本平久能山スマートI.C.から10分
新東名高速道路 新静岡I.C.から15分
静岡バイパス千代田上土I.C.から10分
- 富士山静岡空港から静鉄バス
(静岡エアポートライナー)で静岡駅まで55分
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分

GRANSHIP
Shizuoka Convention & Arts Center

ふじのくに
芸術回廊

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 指定管理者 公益財団法人静岡県文化財団
〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 <https://www.granship.or.jp>

GRANSHIP Special Stage

2024年しずおか連詩の会

Interview

08 スペシャルインタビュー・ADAM at

知らない音楽やバンドと出会う喜びも
味わってもらえたら。

Pick up

10 グランシップ登録アーティスト

Column

12 岩下尚史の

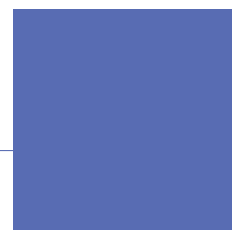
伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。
Vol.40 烏帽子を着る紫式部

GRANSHIP Event Calendar

13 2025年1月～3月

グランシップイベントカレンダー

Exhibition

16 文化・芸術をもっと身近に静岡で鑑賞初め
1月～3月のイベント情報

Information

20 ふじのくに地球環境史ミュージアム &
静岡県富士山世界遺産センター

Information

22 SPAC Interview
SPAC 秋・冬のシーズン2024-2025
#3『メナム河の日本人』

Information

23 静岡県立美術館
生誕140年記念 石崎光瑤

Information

24 グランシップ
こどもたちのための
文化芸術プロジェクト

Outreach

26 グランシップ子どもアート体験！学校プログラム
グランシップ登録アーティストミニコンサート

Information & Communication

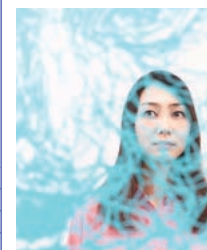


表紙の絵

福井利佐「静岡の冬」2024年制作 切り絵

今回は静岡の象徴でもある「富士山」を登場させました。富士山といえば冠雪している状態、つまり冬の富士山がもっとも富士山らしいのですが、今年は冠雪がなかなか確認されず少し心配もしましたが無事にいつもの富士山の姿になり安心しました。グランシップでは音楽のイベントが多いのですが今季は連詩のイベントが特徴的だと思ったので入れさせていただきました。あとは静岡の冬の特産品といえばのミカン、桜海老なども入れて「冬」という文字を構成しました。

福井利佐(ふくい りさ)
1975年静岡県出身。多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業。観る者を圧倒させるような生命力のある線の世界を描き出す切り絵アーティスト。直木賞作家の桐野夏生氏、木内昇氏の小説への挿画や装丁、NHK太宰治短編集「グッド・バイ」の映像制作、NHK「猫のしっぽカエルの手」オープニングタイトル制作などがある。お能の宝生流家元主催の「和の会」メインビジュアル担当(2008～2018)。福音館書店月刊かがくのとも から絵本「むしたちのおとのせかい」(2019)「からまつ〜ふじさんにもりをつくるき〜」(2022)を刊行。その他、国内外の個展や合同展の参加、ワークショップなど多方面で活躍中。

2024年
しずおか連詩の会

5人の言葉のアーティストが集い、

40詩の連詩を編み上げる「しずおか連詩の会」。

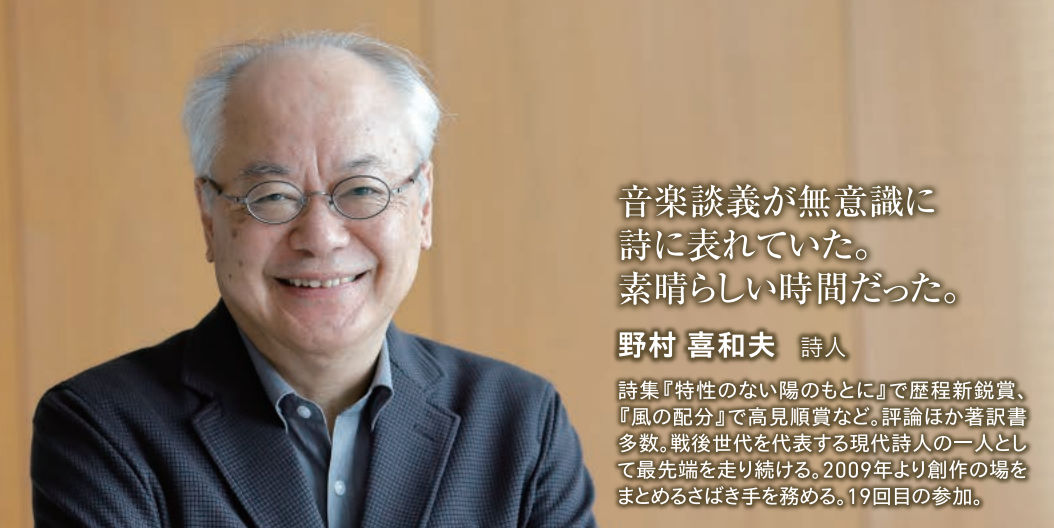
今回は多彩なジャンルの詩人が参加し、

それぞれの持ち味を生かし、連詩を創作しました。

40詩全てと発表会で語られた

解説の一部をお楽しみください。





音楽談義が無意識に
詩に表れていた。
素晴らしい時間だった。

野村 喜和夫 詩人

詩集『特性のない陽のもとに』で歴程新鋭賞、
『風の配分』で高見順賞など。評論ほか著訳書
多数。戦後世代を代表する現代詩人の一人とし
て最先端を走り続ける。2009年より創作の場を
まとめるさばき手を務める。19回目の参加。



語り過ぎるくらい話し、
多彩な詩が生まれた。
制作の場をお客さまにも
見せたかった。

巻上 公一 音楽家・詩人

静岡県熱海市出身。バンド「ヒカシュー」のリー
ダー。世界各地で声の音響やテルミン、口琴を
使ったソロワークも精力的に行う。アルバム多数。
著書『声帯から極楽』ほか。詩集『至高の妄想』
で第一回大岡信賞を受賞。2回目の参加。



詩と詩の間に交わされた
言葉や笑顔や雑談の楽しさが
全て40詩に集約されている。

広瀬 大志 詩人

詩集『毒猫』（2023年）で第二回西脇順三郎
賞。詩風は「現代詩のモダン・ホラー」とも呼ば
れ、一部に熱狂的なファンを持つ。新刊に『カッ
コよくなきゃ、ポエムじゃない!』（豊崎由美との
共著）。初参加。



3日間、一緒に過ごして、
家族のように呼吸が合って、
良い連詩を完成させられた。

佐藤 文香 俳人・詩人

1998年に俳句を書き始め、句集『海藻標本』で
宗左近俳句大賞・その他句集に『君に目があり
見開かれ』『菊は雪』『こゑは消えるのに』。編
著に『俳句を遊べ!』『天の川銀河発電所』な
ど。2014年ごろから自由詩も書くようになり、初
詩集『渡す手』は中原中也賞を受賞。初参加。



目の前にある詩を
良くするための情熱や
好奇心を感じながら楽しく書けた。

柴田 聡子 シンガーソングライター・詩人

2012年にアルバム・デビュー。2016年には詩集
『さばーく』を上梓。エルスール財団新人賞。2017
年より『文学界』でエッセイを連載し、2023年に
『きれぎれのダイアリー』として単行本化。2024年
に7th・8thアルバムをリリース。初参加。

連詩の会を終えて

25回目となる今回は詩人、俳人、ミュージシャンが参加。例年にないほど仲が深まり、和気あいあいと創作されました。参加者それぞれの背景や知識と、共に過ごした時間が共鳴し、「音楽」というキーワードを映し出しました。

連詩とは、複数人で短い詩をリレーのようにして連ねていく創作現代詩。連歌・連句の美学を下敷きに、三島市出身の詩人・大岡信を中心に始まりました。大岡信が提唱した「しずおか連詩の会」は、1999年より開催しています。

「喉歌の舞の地で」の巻 40詩全編と解説の一部をご紹介します

【第一番〜第五番の解説】

公一：創作初日の数日前、静岡市内のホー
ルで、アルタイ人の伝統的な喉歌の名手を招
いてコンサートを行いました。その合間に訪
れた静岡浅間神社で、同地は観阿弥が最後
に舞った地だと知り、詩に詠んでみました。

文香：第一番が七五調で、私が急に自由詩
にしてしまうと折角のリズム感が損なわれて
しまうので、緩やかに自由なリズムになるよ
うに一行目を八七に。アルタイ共和国では喉
歌のことを「カイ」と呼ぶと聞き、連詩を始め
た大岡信さんや谷川俊太郎さんたちの詩誌
の「權」を思い付きました。「浅間神社」を受
けて、ちょっと駄洒落っぽく「宣言するか」と。

大志：野村さんや佐藤さんから「三番目ぐら
いから新しい展開が欲しい」とプレッシャーを
いただいて、「新しいものとまじりあうために」
としました。佐藤さんの「舟」から船旅をイ
メージ。「帆先のしなる音は出発を意味し、
意志を強くして旅に向かうことを象徴してい
ます。「クロウタドリ」は渡り鳥。我々のことを
例えています。「卵の殻」という新しい生命を
出すことで物語の始まりを表現しました。

聡子：広瀬さんの「水際」で、誰かと誰か、物
と物との間にある緊張感を感じたので、立ち
止まって考えているような詩を書こうと思い
ました。「ふり向けば丘でカメラがとらえた
アンカー」は、創作部屋でいただいた静岡新
聞の「最速静岡、衝撃44秒60」というスポー
ツ欄の記事の写真がすごく印象的で、アイデ
アとしてお借りしました。

喜和夫：連詩の手法の一つに、前の詩を裏
切る手法があります。希望していた展開を
全く別の方向に寄せてしまうやり方で、第五
番がまさしくそれです。第四番一行目の緊

気なしに「女の二乗」と詠みましたが、『女』
という言葉の無意識的な選択が、女性お二
人にある違和感を覚えさせてしまったよう
で…。

聡子：その無意識を感じ取っていて、言葉
を拾って詩作しようか悩みましたが、自分の
中に生じた「ん？」という思いをどうしても
通り過ぎることができなかったで突っか
かってみたというか…。第十番への疑問の声
になりますが、それをきっかけに野村さんや
皆さんと話し合えたことが本当に嬉しかっ
たです。

喜和夫：連詩の座で、ジェンダー問題が議
論されるのは珍しいことでしたね。

【第十七番〜十九番の解説】

大志：第十六番の「光」で「投光照明」をイ
メージして、蛇使いが吹くヒョウタンの笛の
音は、実は手まり唄ではないだろうかという
結び付けをしました。

文香：素粒子物理学研究室のホームページ
に「真空や時空の構造までを視野に入れて
研究している」とあり、そこだけ抜いたら詩
ではないかと思いました。超新星爆発の後に
残る特殊な天体を「中性子星」と呼ぶそう
で、創作部屋を研究室だと仮定すると、我々
が見ている星は普通の星なのかと思い、それ
が面白かった。「投光照明」は音読みで、次の
「中性子」「時空」「構造」…。音の観点でも
引き継ぎました。

公一：佐藤さんにならい、中性子星をネット
で調べていると原子核らしきものが載ってい
て、その形状がバスタ、ラザニアに似ていると
書いてありました。星の形をバスタに例える
研究用語がユニークだと思って最初の二行
を書きました。

迫した状態から「生」そのものの躍動がダイ
ナミックに捉えられています。僕は「セミの
死骸」という情けないイメージで裏切ってみ
せました。「諸元素の営み」とは、土による分
解作用で生命が原子の状態に戻ることを表
しています。

【第七番〜第八番の解説】

文香：第七番を詩作する前に、「あの店は
間違いない」と紹介されたオレンジ色の看板
のおそば屋さんでランチをいただきました。
その時、野村さんは黒いカッコいい帽子を
被っていたので、それを書きたいなど。大好き
なワサビを「ワビ・サビ」と分解し、「俳句に
対する古いイメージを払拭するぞ」という思
いを込めて「搾りおろして」と綴りました。

喜和夫：看板、帽子、ワサビ…。現実にあつた
物から詩を立ち上げていくのが実に俳句的。
佐藤さんを招いて良かったと思いましたね。

大志：この頃から雑談に花が咲くようにな
りまして、巻上さんと「殺しの烙印」という
映画の話をしていて、彼が言ったんです。「殺
し屋ってカッコいいな。いつか詩に使えま
すよ」って。それなら…。とすぐに使っちゃいま
した。第七番の「サビ」から「錆びついた週
末」、「搾りおろして」から「身を削る」と付
けました。創作日初日は10月31日、ハロ
ウィーンだったので殺し屋とハロウィーンの
対比に。

言葉の無意識的な選択がジェンダー議論に

【第十番〜第十一番の解説】

喜和夫：第十番は第九番の「宿命」を数式
で表した詩です。ところが、第十一番が出来
上がった時に議論が生じました。僕は何の

組曲、フルート、管弦楽曲… 「音楽」というテーマが現れた

【第三十番〜第三十一番の解説】

公一：前詩で「組曲」が出て来たから、武満
徹さんの『鳥は星形の庭に降りる』を弾いて
みました。雑談がそのまま連詩の言葉になっ
ています。

喜和夫：連詩の醍醐味である即時性や現
場性、あるいは即興性がとても美しい形で現
れた詩ですね。

大志：最終行の言葉から、庭の中の噴水を
連想しました。鳥の鳴き声のような噴水での
時間は、非常に和む時間です。それを置き換
えると、我々の安息の時間ではなからうかと。

【第三十六番〜第四十番の解説】

大志：私が担当するラストの詩編です。第
三十五番の「無意味に介入する」を、突発的
な事件に遭うのではなからうかと解釈しま
した。突然事件が起きて、回避するために考
えて、解いて、進むことができたのに、また起
きる…。我々の連詩の創作は、この繰り返し
ではないか、ということから始めました。

公一：「ミステリー」を受けて発句を呼び起
こしました。観阿弥のゆっくり美しく舞う姿
を見た世阿弥が「老骨に残りし花」と表現
したと伝わるエピソードを最初の行に込め
ました。

聡子：前詩に登場した新幹線。その中の風
景を書きました。良いところで自分の力を
的確に発揮する皆さんの凄みを感じつつ、ま
だ自分にはできないかなと思ひ、普通にいこ
うと決めたのです。新幹線が走り過ぎる爽
やかな風が吹いていくような印象を受けた
ので、「透明」に近づくようなイメージを三
行目で表現しました。

一	アルタイ人のまねをして うなりはじめた喉歌が 観阿弥最後の舞の地で 上に行ったり下に行ったり どこを舞うのか歌うのか	公一
二	舟に戻んなきゃならなくせに 花野に權を忘れたんだ ここで演るって宣言するか	文香
三	新しいものとまじりあうために 帆先のしなる音をあなたの髪に強く巻いて そこからはクロウタドリの戯れ 卵の殻からコッソンコッソンと光を揺らす 水際の言葉の動機	大志
四	ここから先、生まれるか生まれないか 迷った、ふり向けば丘でカメラが とらえたアンカー、ピントふり切ろうと	聡子
五	人新生の沸騰する夏 アスファルトにはセミの死骸が落ちていた 私はそれを拾い上げ きみも苦しかったかと問い それから木立の下の土に運んで 諸元素の営みに戻してやったのだが――	喜和夫
六	魂がニョロニョロとはみだして 精神が深々とお辞儀した ぱんやり燃える詩の陽炎	公一
七	オレンジの看板なら間違いない 黒い帽子は脱がないでいい 皆で待とうではないか 冷えた香りのワビ・サビの根を しゃぎしゃぎと攪りおろして	文香
八	錆びついた週末に 殺し屋は安らぎを求めて身を削る 外灯は賑やかに寂しい	大志
九	偶然にも、ひとつ前の人生の途中で、 趣味数学の若者に告げられたんだった。 「戦場だと、格好つけない方が輝きますよ、あなたは!」 今さら燃えるな宿命よ。 駐軍場の「13」と焼きつけられたマス目に佇む。	聡子
十	女の二乗に三倍の私の影を加えたものから 空気を抜けば ひとひらの海のような 幸せ それとも不幸せ	喜和夫
十一	いったいつまで、私をまなざすのだろう、この人は。 かすりもしなくておもしろい。 針のつもりが風、もしくは蠅。 不思議と涼しいわね、今日になって急に。 私たちが好き勝手してきたせいらしいわよ。	聡子
十二	色々な風にも色があるから 絵の鳴る方へ解剖しよう トカゲの食べた街の鮮やか	大志
十三	SHIDA X、カラオケ館の奥の ストライプの直方体に 爪をかけた あのと オレの背筋に稲妻が走った 角筈 ^{ツノハサ} がくまなく見えたよ	文香
十四	ギャギャギャギャギャ―― 呪われた濁音を音引きしたのは アウルヴァアもどき	公一
十五	目覚めたらここにいた、無人、 揺らぐ廊下、柔かく、結び目のよう、 どこまでも続いている、今もよぎる悪夢、 二度とあの場所には戻りたくない、ざら、ぐびら、 われら、まぎれもない、実存の音だけを吐いて、	喜和夫
十六	音を探して、光の武士。 己のはやさが仇となり、痛恨の素通り。 縁側に運れて届く、殿！殿！の響き。	聡子
十七	投光照明にさらされた蛇使いが ヒョウタンを吹きつつける まばゆい手まり唄 の手まりのところが物質 あとは黒い籠	大志
十八	中性子を使った実験では 時空の構造までを視野に入れる 研究室の窓には 普通の星も	文香
十九	見えるものだけが食べ物ではない 原子核バスタも食べ物ではない 知らないことが星になる その輪郭は騒めいている その速吠は未確認である	公一
二十	麦畑のへりで私は彼女の名を呼びつづけた情欲を果てまで辿れば こねくり回してゐるのが肉なんだか土なんだか私たちは 名づけ以前の存在になつてしまひさうでこはくてこはくて	喜和夫

二十一	水切り台に秘密を並べて虚ろに感じたところが 人の関係だったら きつと断崖から見下ろされた 滴ったばかりの時間が 生きる頃合いの会話みたい	大志
二十二	冬になると決まって高所があらわれる そして見えるのだ そこに向かつて一本の竿を登ってゆくひと 棒高跳びの孤独よりもきびしく滑稽に	喜和夫
二十三	超えてきた このテイタが 目覚ましい成果となった 新聞部が取材していた （校内模試を休んで） 百日紅の実が黒ずんで落ちる	文香
二十四	首がなくなつてからが本番ってこのことか 「おやさしい顔にしては骨までぶった切るんだって♡きゃあ♡」 一階の警備員の方とだけ、おはようを交わす	聡子
二十五	声が出なくなつてからが勝負だよ それが展望なんだと タブラ・ラサに還つて いのちふたたび 行方は不明	公一
二十六	百年前からかくれんぼしていた子ども 後ろにいるから 新しいお面をつけてあげて	大志
二十七	師の説教を聴こう――カオスは好きだが、顔の果は嫌いだ、 そこで問題は、どうしたら顔を棄てることができるかということ、 顔はろくなものを生まない、差別、支配、富……悲しき関係性の源泉、 それが顔だ、齢五十を過ぎたら、だから顔を棄てる術を知れ、 顔の果はきらいだが、カオスは好きだ、	喜和夫
二十八	^{カオマンガイ} 海南鶏飯も好きだ お前らの鳥肌を貫くフオークを 持っている 左利きの左手	文香
二十九	ちらつと見る、左手小指側面の黒光り うらやましい、消しゴムで描く薄灰色のチューリップ あれがなかったら出来なかったこの組曲 フルート一丁で吹き語るのだ 静かにして、と頼むより、静かにやればこつちを向くのさ	聡子
三十	その曲のピアノッシモもメゾフォルテも すべて図形で書かれていた 鳥が星形の庭に降りるように	公一
三十一	噴水みたいな鳴き声の ルリビタキの方へ 遠くのものど近くのが 薄青色に混じり合つて 手紙を読み上げる一日の踊り場	大志
三十二	跳ね回る羽と羽の軋み 飛び降りる瞬間を図る バリトンを知らぬ海よ	公一
三十三	西日を朝日として起きた、急がなきゃ 走ると床が、ほへっ、という部屋 ごろごろん芋みたい、靴箱からかき出す どれも嫌、ひとつひとつに、靴 足を突つ込む水色のコンバース	聡子
三十四	今日は梅林へ行こう 雨は 雨だからいい 替えのふんどしは宿に預けて	文香
三十五	かの人は山路を辿り すみれ草と出くわすこともあった その紫に 「何やらゆかし」とかの人は語りかけた フランス語ではヴィオレットと呼ばれ 暴力と隣り合っている 花は踏みにじられてこそ 花なのだ と私はまたも無意味に介入する	喜和夫
三十六	起きる、出くわす、考える、解ける、進む、起きる、 畏にかかった月夜の下で 秋はもつれ合うミステリー	大志
三十七	「老いても花」と世阿弥は言った 水晶は震える時を百年にイチミリイチミリ刻む 纏わりついたシガラミを落としつつ 何もなかったかのように 新幹線が走る	公一
三十八	自宅ソファアの面影を、青い座席に見出し泣く客。 こちとらとなりで駅に着くこと、 こっそり透明に近づいているのに。	聡子
三十九	ひとり減つて 四人になる そんな場面はいくらもあったが Pentagonとは家のかたち わたし以外が松脂を囁んでいるあいだ わたしは四人を愛していた	文香
四十	嵐が止んで 高層の夜へ私たちは ひとりひとり琥珀のように明るむ 明朝には雪を戴いた霊峰があらわれるだろう	喜和夫

創作 2024年10月31日(木)～11月2日(土)グランシップ 発表会 2024年11月3日(日・祝)グランシップ

2024年しずおか連詩の会 創作現場&発表会 潜入レポート

創作2日目の第二十三番では、野村宗匠の「テイクとは？」の一言からディスカッション。「何度もトライしていることが伝わる」「音楽的な意味もある」など次々に意見が飛び出しました。議論したことで詩のイメージが共有されました。40詩を編むだけでなく、「詩を共に詩作することも」しずおか連詩の会」の魅力です。



発表会は、前日の嵐とは打って変わって秋晴れの中、多くの来場者が訪れました。初めに、詩人による40詩の朗読。発句の巻上さんが「喉歌」を響かせて、連詩の扉を開きました。来場者は詩人たちの発想力の豊かさに感心しているようでした。直筆詩の展示コーナーは長蛇の列ができ、関心度の高さが伺えました。

2024年11月13日、谷川俊太郎さんが逝去されました。
三島市出身の詩人・大岡信さんと共に戦後の現代詩を牽引した谷川さんは、これまで4回にわたり「しずおか連詩の会」に参加し、言葉の豊かさや詩作の楽しさを教えてくださいました。謹んで、冥福をお祈りいたします。

文香：三日間を思い出して書いた詩です。座席の配置が五角形の創作会場で、5人が詩作を続けていて、「家族のようだ」という気持ち湧き上がってきました。「松脂」は、巻上さんが創作会場で配った「アルタイの松脂ガム」のこと。皆がガムを噛むのを見て、このメンバーで良かったと、かみ締めた思いを五行目に込めました。最後の最後に心からの言葉を出せたのは皆のおかげです。連詩をやった甲斐がありました。
喜和夫：最後にあたる発句は、連詩全体を軽くフエイドアウトする役割ですので、そのつもりで書きました。第三十七番から三十九番辺りを作っている時、窓の外は大雨でした。それが発句の頃になると、なぜか止んだのです。その瞬間、第三十九番の「わたしは四人を愛していた」が僕の内にも染み渡り、琥珀のように明るんでいるような幸福な気分に見われました。これならば、明朝には初冠雪の富士山が我々の前に現れてくれるのではないか、という希望も生じて素直に書いてみました。

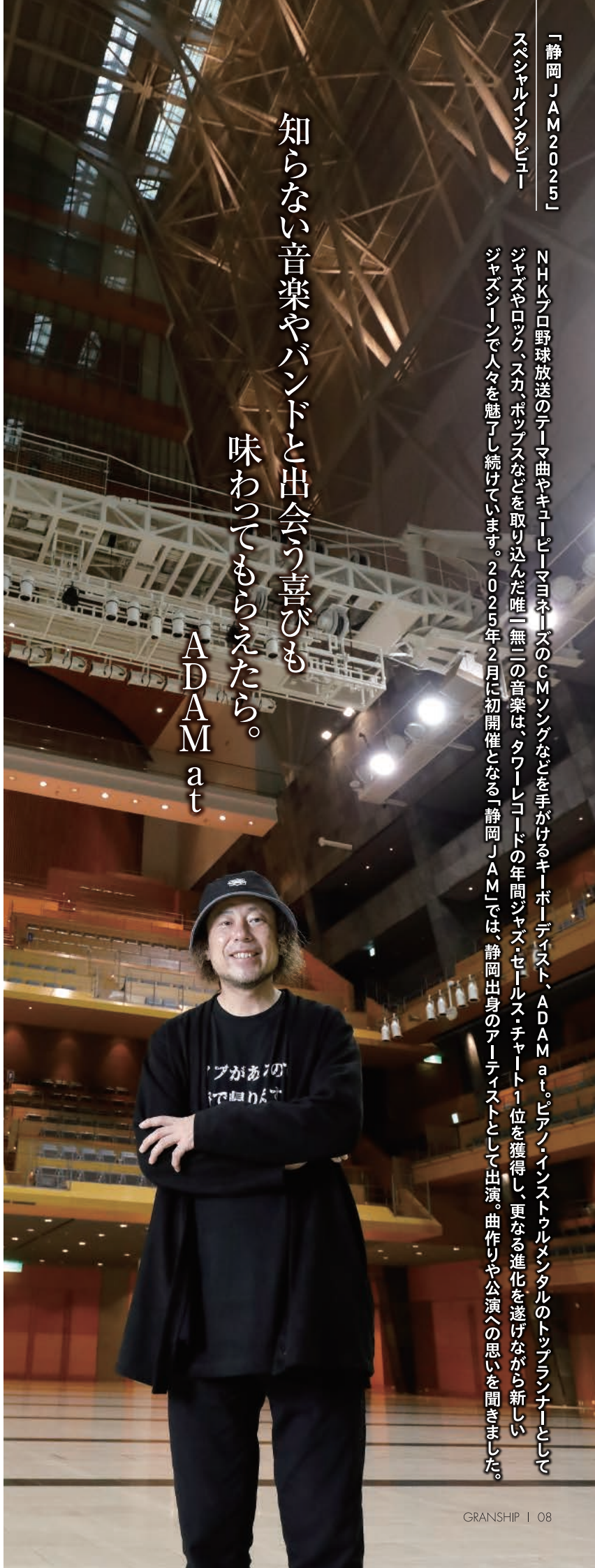


NHKプロ野球放送のテーマ曲やキューピーマヨネーズのCMソングなどを手がけるキーボーディスト、ADAM at。ピアノ・インストウルメンタルのトップランナーとしてジャズやロック、スカ、ポップスなどを取り込んだ唯一無二の音楽は、タワーレコードの年間ジャズ・セールス・チャート1位を獲得し、更なる進化を遂げながら新しいジャズシーンで人々を魅了し続けています。2025年2月に初開催となる「静岡JAM」では、静岡出身のアーティストとして出演。曲作りや公演への思いを聞きました。

知らない音楽やバンドと出会う喜びも

味わつてもらえたら。

ADAM at



街路樹が色づき始めた11月中旬。ライブツアーの真つ只中、グランシップ大ホール・海に現れたADAM atさん。磐田市出身で、今も県内に住んでいるという話題から、自身のルーツへとお話が移りました。

—ピアノを始めたきっかけは？

両親の勧めで始めました。二人ともピアノを弾きたくても弾くことができなかったらしく、子

スカパラダイスオーケストラがコンサートをした時に、イベント会社のアルバイトで来ていて、デカイ会場だな、と思っていました。暗くて、暑いライブハウスでしか演奏してこなかったの

—どんなステージを思い描いていますか？
これだけ大きい会場でやらせてもらえる機会をいただけたので、ここでしかできないことをやれたらいいですね。出演する3組の中で地元は僕だけなので、彼らをもてなす側として、僕の曲を皆で演奏するチャンスがあればいいなと思っています。

—演奏曲は決まりましたか？

NHKプロ野球放送のテーマ曲『六三四』は、僕を知らなくても曲を知っている方が多かったりするので演奏すると思います。多分、『定時で帰ろう』も。

—歌もの(『定時で帰ろう』)も演奏するのですね！

インストに限定しているわけではなく、お客さんが楽しんでくれるのが一番。それが嬉しくてやっているの。

—共演する2組にはどんな特徴や魅力がありますか？

自分よりも、「ロケット」のほうがジャズ寄りかもしれないですね。ノリノリの踊れるジャズ。ロックンロールに近いかもしれない。「fox capture plan」はピアノインストに近いかな。ドラムの井上司君がロックやハードコアバンド出身という点もあって、ピアノ、ベース、ドラムのスリーピースでも「静

ひっくり返したようなキラキラ、わくわくするサウンドはどのようにして生まれたのですか？

ピアノの練習が嫌で、でたために弾いているうちに「いいな」と思ったフレーズを曲にしていっような気がします。

—でたためのフレーズを編集して曲にしてしまうとは、すごい才能ですね。

いやいや、何でもインプットとアウトプットだと思うので、多分いい曲をたくさん聴いてきたからだと思います。その中でもやっぱり



と「動」が同居していて物語を紡ぐような曲が魅力。

「静岡JAM」のチラシにある新しいジャズシーンって良い言葉ですね。ここから新しいものを発信しようという思いが伝われば嬉しいですね。

—ライブ活動やアルバム制作、楽曲提供、テレビ番組の主題歌、CMソング…と幅広く活動されていますが、今後はどんな展開になりそうですか？

ずっとバンドマンでいたいんです。別に、スターにも、タレントにも、芸能人にもなりたくないわけではない。ただ、聴く側も演奏する側も健康に気を付けて、ライブハウスで一緒に遊べたらいいなと思いますね。

それから、まだ出てみたいフェスが各地にあります。音楽にはそれまで縁のなかった土地にも人を立ち寄らせる力があるので、音

リメタルが多いですかね。ジャズだとSOUL&PMPSESSIONSも好きなバンドです。影響を受けたのは、ブライアン・アダムス。中学の頃から僕のロックスターです。ピアノではできないことをやっているメタルと、メロディラインが綺麗なブライアン・アダムス。ピアノでできないこと、ピアノだからできること。その両方に惹かれます。

—中学の時に初めて組んだバンドもインストウルメンタルだったそうですが、インストの魅力はど

楽で一つの街を明るくすることができたらいいなと思います。

—最後に、このマガジンを読んでいる方々にメッセージをお願いします。

娯楽がとても多い世の中で、昔に比べて音楽の比重が減っていると感じていて。CDなどで音楽を純粋に聴く時間も少ない中で、音楽を選んでくれたら嬉しいなと思いますし、一つのことと時間や気持ちを注げることが、とても贅沢なことだと思うんですよ。みんなタイムパフォーマンスを求めがちだから、「静岡JAM」で純粋にライブを見る贅沢を味わってもらえたら嬉しいですね。僕は誰しもが知っているミュージシャンではないですが、知らない音楽や知らないバンドと出会う喜びもあると思います。想像以上に盛り上がるステージにするので、ご期待ください！

音楽が好きで好きで、音楽を好きな人と思う気持ちも人一倍強いADAM atさん。「お客様が大切なお金と時間を割いて、自分のライブに来てくれる気持ちで絶対に忘れてはいけない」と話していたことが印象的でした。人を楽しませるセンスも、思いやりも一級品。「静岡JAM」が待ち遠しくなりますね！

ADAM at

アダムアット キーボーディスト

静岡県磐田市出身。2011年12月に浜松市のライブハウスでインストウルメンタル・セッション・バンドとして活動を開始。NHKプロ野球放送のテーマ曲として書き下ろした『六三四』は、2015年から2024年現在まで使用される。タワーレコード年間ジャズ・セールス・チャートで上位を獲得するほか、2018年からは浜名湖ガーデンパークで「INST-ALL FESTIVAL」を開催。数多くの国内外のフェスティバルに出演するほか、テレビ、ラジオのCM音楽やテーマ曲を多数手掛ける。2025年1月に、メジャーデビュー10周年ベストアルバム「The Creation of ADAM」をリリース予定。



静岡JAM2025

2/23(日・祝) 16:00~(20:00終演予定)

■大ホール・海

■一般4,000円 こども・学生1,000円

〈出演〉

ADAM at/TRI4TH/fox capture plan



座談会参加メンバー



金原 麻美
(ミナトニカ／ピアノ)



古川 春美
(ALBOSTリオ／パーカッション)



村上 夢子
(TrioWINGS／ピアノ)



田中 亜希子
(Duologue／ピアノ)

金原 ALBOSTリオは、マリimba、ピアノ、パーカッションというユニークな構成で、高い演奏技術を持っています。搬入が大変そうですが(笑)、たくさんの楽器が登場するので、子ども

はとてもエネルギーが溢れる！

村上 編曲も自分たちで行うミナトニカは、オリジナルリテイが魅力。ヴァイオリン・サクソフ・ピアノのそれぞれの楽器の良さが伝わってくる演奏です。3人の人間的な個性も面白く、ステージ

はとてもエネルギーが溢れる！

田中 ピアノと金管楽器のTrioWINGSは、とても華やか。複数のサクソフを使い分け、王道のクラシックを豊かな響きで演奏する、音で説得するタイプのグループですね。

古川 ピアノとフルートのDuologueは、グループ

の通り「対話」を大事にしていることがプログラムや二人の様子から伝わってきます。子どもたちにとっても丁寧に関わっていると感じます。

古川 ピアノとフルートのDuologueは、グループ

の通り「対話」を大事にしていることがプログラムや二人の様子から伝わってきます。子どもたちにとっても丁寧に関わっていると感じます。

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

村上 子どもたちの活動を通して自分の子ども時代を振り返り、音楽は励ましてくれたり、力を与えてくれる存在だったことを思い出しました。また、自分の経験を子どもたちに伝える責任も感じ、演奏活動を通じていく上で貴重な時間になりました。

田中 子どもたちの目の前で演奏し、ダイレクトにその反応を感じられる経験は、登録アーティストの皆さんに演奏家としての新しい気付きをもたらしたようです。2月の「羽ばたき卒業コンサート」、そして静岡での「これからの活躍にもぜひ注目ください。」

金原 「演奏を聴いた後、子どもたちがこんな風になるといいな」という目標をもってプログラムを作るとは、聴く側と演奏家の双方に良い影響があることを知りました。最初は、時

間やトークなど演奏以外のことに気を取られがちでしたが、次第にベースもつかめて、メンバー間の役割分担もでき、グループとしてさらにまとまりが出たと感じています。

「羽ばたき卒業コンサート」への意気込みをひとこと！



トリオの面白さを感じてもらえるような工夫をしてお届けします。(古川)

チャレンジしたい曲、私たちの編成ならではの曲を用意します。(金原)

サクソフの幅広い表現を生かした曲を用意しています。(村上)

考え抜いたプログラムを演奏するので楽しみに。(田中)

座談会

第一期グランシップ登録アーティストとして活躍する各グループの代表者が集合！活動を通して感じたことを語り合いました。

グランシップ登録アーティスト



静岡県内各地の子どもたちへ生の演奏を届けている「グランシップ登録アーティスト」。第1期登録アーティストの活動を締めくくる「羽ばたき卒業コンサート」を前にこれまでの取り組みを振り返ります。



静岡ゆかりのアーティストが子どもたちへ手渡す、音楽の贈り物

グランシップでは2014年度から地域の音楽家と連携し、県内各地の学校でコンサートを実施してきました。2022年度からは制度をリニューアルし、オーディションで選ばれた静岡県ゆかりの音楽家4組が「第1期グランシップ登録アーティスト」として活動を開始。県内各地の小学校・特別支援学校やグランシップのイベントで子どもたちに生演奏の楽しさを伝えてきました。そして2024年度は「第2期グランシップ登録アーティスト」も本格的に活動を開始。今後も県民の皆さんに音楽に親しむ機会を届けます。



第1期(2022-2024年度登録) グランシップ登録アーティスト

アルボス ALBOSTリオ	望月 恵(マリンバ)、久米 涼子(ピアノ)、古川 春美(パーカッション)
デュオログ Duologue	大川 美南(フルート)、田中 亜希子(ピアノ)
トリオウィングス TrioWINGS	三浦 玲太(サクソフォン)、戸村 愛美(サクソフォン)、村上 夢子(ピアノ)
ミナトニカ	西川 奈穂(ヴァイオリン)、池谷 隼人(サクソフォン)、金原 麻美(ピアノ)

研修と実践を重ね、磨かれた技術

コンサートでの演奏実績を持つ音楽家たちも、子どもたちを音楽の世界に引き込むためには様々な工夫が求められます。音楽家たちは、専門家による指導の下、子どもたちとのコミュニケーション、楽器や音楽の魅力を伝える方法を学びました。また、学校で演奏する際は、子どもたちの年齢や特性に合わせたプログラムを作成。音楽の授業とは異なり、プロの音楽家だからこそ表現できる世界を子どもたちに届けてきました。



3年目、ついに迎えた羽ばたきの時

第1期グランシップ登録アーティストは、1年目に県民の皆さんへのお披露目を兼ねたファーストイヤー公演をグランシップで開催。2年目は出前公演として島田市でセカンドイヤー公演を行い、多くの方にその活動を知っていただきました。そして3年目にあたる2024年度末。これまでの活動の集大成となるコンサートを開催します。音楽家たちが3年間の経験の中で培った力を発揮する晴れ舞台。新たなステージへステップアップする静岡の音楽家の姿にご期待ください。

第1期グランシップ登録アーティスト 羽ばたき卒業コンサート

2月22日(土) 14:00～

13:45～ 出演者によるプレトークあり

■中ホール・大地 ■1,000円
〈出演〉第1期グランシップ登録アーティスト



グランシップイベントカレンダー



グランシップホームページ
イベントカレンダーTOPへ

2024年12月の情報です。内容等変更となる場合があります。グランシップ企画事業の公演・イベントへご来場の際には、必ずグランシップホームページで最新情報をご確認ください。
なお、貸館催事につきましては、それぞれの主催者にお問い合わせください。

1/10[金]

その他

令和7年静岡県警察年頭視閲式
■大ホール・海 ■10:00～11:00
静岡県警察本部 tel.054-271-0110

1/10[金]～12[日]

展示

キャプテンサンタ静岡フェアー
■6階展示ギャラリー3
■10日14:00～19:00 11日10:00～19:00
12日10:00～17:00
(有)シスターズ tel.0266-58-9770

1/11[土]

その他

第13回静岡県看護学会
■10階全室 ■9:50～16:30
■当日受付 会員6,050円
非会員8,250円 学生550円
静岡県看護協会 tel.054-202-1760

1/19[日]

グランシップ企画事業

イベント

グランシップ冬のおくりもの2024-2025
キノ・イグルーの
不思議の国のえいがかん

■大ホール・海 ■10:30～
■えいが券500円(0歳～大人まで同額)

キノ・イグルーがこの日のためにセレクトした、小さな子どもたちが楽しめる映画をライブペイン
ティングパフォーマー・近藤康平によるスペシャルな演出で。
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



1/19[日]

グランシップ企画事業

音楽

グランシップ冬のおくりもの2024-2025
こどもたちのための
静フィルウィンター・コンサート

■大ホール・海 ■14:30～
■一般1,000円

こども・学生(小学生以上28歳以下の学生)500円 ※未就学児入場無料

地域で活動している静岡フィルハーモニー管弦楽団とグランシップがこどもたちのためにおくる
ウィンターコンサート♪こどもたちのオーケストラデビューにもオススメ!

〈曲目〉中西圭三:ぼよん行進曲、ホルスト:組曲「惑星」より木星
冬の童謡メドレー 他

〈出演〉松村詩史(指揮)、Emi(ソプラノ)、静岡フィルハーモニー管弦楽団(管弦楽)
眞田里子(司会)

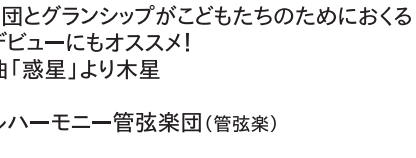
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



1/24[金]～27[月]

展示

第35回特別支援学校高等部合同作品展
■6階展示ギャラリー1・3 ■10:00～16:45(最終日～12:00)
静岡県高等学校文化連盟 tel.054-254-7375



1/11[土]

その他

JBDFジュニアボールルーム
ダンスミーティング in 静岡
■6階交流ホール ■12:00～16:00
静岡県ボールルームダンス連盟
tel.054-631-9552

1/12[日]

その他

New Year ダンス フェスティバル
■6階交流ホール ■13:30～16:30
静岡市ダンススポーツ連盟
tel.080-6909-3128

1/12[日]

音楽

【グランシップ提携公演】
南仏の風に乗せて
デオダ・ド・セヴラックの世界
～深尾由美子トーク&ピアノコンサート～
「追憶の変奏曲」出版記念

■中ホール・大地 ■15:00～
■一般3,000円

こども・学生2,000円(28歳以下の学生)
一般社団法人シナリオ Multi Works
tel.090-9172-5732

1/18[土]

音楽

レコードコンサートATグランシップ
■2階映像ホール ■13:30～17:00
前田幹夫 record.cd.concert@gmail.com

vol.40 烏帽子を着る紫式部

高校の古文の授業で、平安朝の宮中権門に仕えた女房たちは教養があり、言わば家庭教師のような存在であったと習いました。放課後に図書室へ行き、萩谷朴註釈による『紫式部日記』を読むにつけ、とり澄まして機知に富み、和歌と社交とに手際を見せ、恋の専門家として雇い主の道長をあしらう様子はまるで新橋や赤坂の芸者のようだなーと初生な高校生なりの感想を抱いたものです。

それから間もなく國學院大學に進んだ私は、このたわいもない類推を、中世文学の徳江元正先生に申し上げたところ、にやりと片頬で笑まれ、翌週の講義の折に六枚綴りの論文の写しを下さいました。

みると『源氏供養』の系譜を折口流の文で説かれており、四十余年を経た今では遺物のひとつになりましたが、来春のグランシップ能のよすがに、久しぶりに筐底より出した次第です。

王朝びとの理想とした好色の道を高雅妙巧の文であらわす「光源氏之物語」は、男女交会の精緻深

刻な心の綾を解き、これを読む者に癡情妄想を起こさせるゆえ、作者読者ともども地獄に墮すと云う説が、はやくも院政期には唱えられるようになりました。

その苦患に喘ぐ罪深き亡魂を救済するため、法華二十八品の真文を書写し、源氏物語の巻名を充てて誦経する仏事の営みが源氏供養であります。

この供養には手本があり、狂言綺語(きご)「虚言を飾る罪を仏道に入る因」とした唐土の白楽天の発願を疑したもののらしく、その始まりは安居院澄憲の『源氏一品経』、その息の安居院聖覚の『源氏供養表白』で、これが後世の御伽草子や能にも取り入れられた道筋は、能の『源氏供養』のワキが安居院法印と名乗るところにも見えております。

供養されるはずの紫式部が、能に於いては自身の虚言で創作した光源氏を供養するのが珍しい上に、その布施としては源氏表白を拍子に乗せて自ら謡いつつ、定式の舞にあらぬ曲を舞うところも珍しく、まるで京劇の花旦を見るような妙味

が漂うのも興があります。

と、舞い納めた亡霊は扇をはねあげ、我こそは石山観世首の化現と宜り、世の衆生に無常を觀じさせるため、「夢の間の言葉」を用い、狂ぶれ綺うた『源氏物語』を作ったのだと開き直るころも、後宮の気嵩な女房あるいは曲舞の浮女らしくて面白い。

徳江先生の論文は「紫式部の亡霊は長絹大口の女姿にあやしくも烏帽子を着けている」と装束に言及し、能の作者が上東門院の女房を冥界から舞台に誘きよせるに当たり、半男装の白拍子めいた当世風の扮装にしたのを指摘し、室町時代の人々が現代人とは異なる目で紫式部を見ていたことを暗示なさいました。

さればこそ、直観のみで質問した無学な生徒の掌に、『源氏供養』の呪符を載せられたのかも知れません。

大河ドラマで見る優美な五衣を引き纏うた紫式部とは異なる、半男装の彼女に逢いに入らしてはいかゞ。

TV・ラジオでコメンテーターとしても活躍。
作家・岩下尚史氏のコラムが好評連載中。

岩下尚史(いわしたひさふみ) …作家。國學院大學客員教授。新橋演舞場(株)退社後、芸者の発生と変遷について著した『芸者論』にて、新人としては異例の第二十回和辻哲郎文化賞を受賞し、本格的な作家活動を開始。その他、三島由紀夫の恋人への取材を基に書き下ろした『見出された恋』、『ヒタメン』などの著作がある。また、日本の伝承芸能や古典的な暮らしについてのエッセイ等も多数著している。現在、季刊「美しいモノ」(ハースト婦人画報社)にてエッセイを連載中。また、現在、新刊発表に向け、鋭意執筆中。



伝統芸は知るものではなく、
身につけるもの。
岩下尚史

3/2〔日〕

その他

Spring ダンス フェスティバル
■6階交流ホール ■13:00～16:30
静岡市ダンススポーツ連盟
tel.080-6909-3128

3/8〔土〕

音楽

レコードコンサートATグランシップ
■2階映像ホール ■13:30～17:00
前田幹夫 record.cd.concert@gmail.com

3/9〔日〕

就職

令和6年度
冬・SHIZUOKA福祉の就職相談会
■大ホール・海 ■13:00～15:30
(福)静岡県社会福祉協議会
静岡県社会福祉人材センター
tel.054-271-2110

3/21〔金〕・22〔土〕

展示

「季(とき)のうつろい 花うらら」
池坊清水支部いけばな池坊展
■6階展示ギャラリー
■21日10:00～17:00 22日10:00～16:00
華道家元池坊清水支部 tel.054-628-6403

3/25〔火〕

音楽

静岡北高等学校吹奏楽部
第18回演奏会
■中ホール・大地 ■18:00～
静岡北高等学校吹奏楽部 tel.054-261-5801

3/26〔水〕

就職

～YourLife静岡エリア～
高校生のための合同企業説明会
■大ホール・海 ■13:00～16:00
YourLife tel.054-663-1100

3/28〔金〕

就職

福祉・介護業界就職セミナー
静岡会場
■大ホール・海 ■13:00～17:00
(株)マイナビ s-shizuoka-event@mynavi.jp

3/29〔土〕・30〔日〕

展示

ジョイフル恵利
二十歳の振袖展示ご予約会
■6階展示ギャラリー2 ■10:00～18:00
ジョイフル恵利静岡店 tel.0800-200-7537

3/30〔日〕

その他

第21回リュミエル新体操演技発表会
■大ホール・海 ■18:00～20:00
リュミエル 長島祐三子 tel.090-3257-2600

2/22〔土〕

音楽

第1期グランシップ登録アーティスト
羽ばたき卒業コンサート
■中ホール・大地 ■14:00～ ■1,000円
2022年から「グランシップ登録アーティスト」
として、県内の小学校・特別支援学校等で音
楽を届けてきた4組が、3年間の活動の集大
成として磨きをかけた演奏を披露します。
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/22〔土〕

講演会

静岡済生会総合病院 2024年度 第4回市民公開講座
■10階1001-1会議室 ■14:00～16:00 静岡済生会総合病院 tel.054-285-6171

2/23〔日〕・祝

音楽

静岡JAM2025
■大ホール・海 ■16:00～20:00(予定) ■一般4,000円 こども・学生1,000円
ラジオパーソナリティや音楽フェスの主催者、多彩な顔を持つ磐田市出身のキーボーディ
スト・ADAM atがバンドメンバーとともに登場。話題のインストバンドも迎えて送るロック・ジャ
ズなどのジャンルを超えたインストゥルメンタルセッション。

ADAM at TRI4TH fox capture plan

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/27〔木〕・28〔金〕

講演会

2025年3・1ビキニデー日本原水協 全国集会
■中ホール・大地 他 ■27日14:00～16:30 28日13:00～18:30
原水爆禁止世界大会実行委員会(事務局 原水爆禁止日本協議会) tel.03-5842-6031

3/1〔土〕

音楽

グランシップ リサイタル・シリーズ
宮田大×福間洸太郎 デュオ・コンサート
■中ホール・大地 ■14:00～ ■一般4,500円 こども・学生1,000円
名実ともに日本を代表するアーティストとして
国内外で活動を繰り広げるチェリスト・宮田大
と、2024年にデビュー20周年を迎えるピアニ
スト・福間洸太郎。圧巻のデュオをお聴き逃し
なく！
〈曲目〉
ショパン:チェロ・ソナタ短調 作品65
ベートーヴェン:モーツァルト「魔笛」の「恋を知る男たちは」の主題による7つの変奏曲
変ホ長調 WoO.46 他
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

宮田大(チェロ) 福間洸太郎(ピアノ)

3/1〔土〕

講演会

2025市民フォーラム
■6階交流ホール ■14:00～16:00
静岡の未来を拓く会 tel.090-8956-9863

3/1〔土〕

就職

しずキャリアセミナー
■大ホール・海 ■12:00～17:00
しずキャリア事務局
tel.054-281-5566又はsjc02@sjc-net.co.jp

1/26〔日〕

音楽

グランシップ静岡能(観世流)
■中ホール・大地 ■14:00～
■一般5,800円 こども・学生1,000円
大河ドラマで話題となり、今もなお人々の心を魅了する
「源氏物語」。物語を書いた紫式部はなぜ苦しみ続けた
のか。紫式部と源氏物語の後日譚を舞台化した「源氏
供養」を上演。
〈出演〉能「源氏供養」 シテ 山階彌右衛門
舞囃子「小袖曾我」 観世三郎太、関根祥丸 他
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/11〔火・祝〕

イベント

SHIZUOKA TANKYU
COLLECTION
■11階会議ホール・風 ■10:00～16:00
NPO法人しずおか共育ネット
shizuokakyouiku@gmail.com

2/11〔火・祝〕

その他

2025中込ダンススクール
ダンスパーティー
■6階交流ホール ■13:00～16:00
中込ダンススクール tel.054-281-0335

2/12〔水〕

就職

先生Fes2025
～おしごと体験&名刺交換会～
■6階展示ギャラリー1 ■15:00～18:00
(株)ジンジブ tel.06-7777-7779

2/14〔金〕

就職

ハローワーク静岡・清水
障害者就職相談会
■大ホール・海 ■13:00～15:30
ハローワーク静岡 tel.054-238-8605

2/15〔土〕

音楽

グランシップ寄席～入船亭扇遊・三遊亭兼好～
■6階交流ホール ■14:00～
■一般4,000円 こども・学生1,000円
熱海市出身、軽やかで粋な芸風と絶品の芸で
魅了する古典落語の名手、入船亭扇遊。
歯切れのよい語り口、明るく華やかな高座が客
席を虜にする三遊亭兼好。実力派の二人が情
緒あふれる江戸落語の世界をお届けします。

入船亭扇遊 三遊亭兼好

2/20〔木〕

講演会

静岡大学カーボンニュートラル
推進本部設置記念講演会
■6階交流ホール ■13:30～16:00
静岡大学 tel.054-238-4056

2/16〔日〕

イベント

GLEAT(プロレス)
■6階交流ホール ■13:00～16:00
■4,000円～12,000円
リデットエンターテインメント(株)
tel.03-5219-7717

1/25〔土〕・26〔日〕

展示

ジョイフル恵利
二十歳の振袖展示ご予約会
■6階展示ギャラリー2 ■10:00～18:00
ジョイフル恵利静岡店 tel.0800-200-7537

1/25〔土〕

講演会

第64回静岡県病院学会
■11階会議ホール・風 ■13:00～16:30
(公社)静岡県病院協会 tel.054-252-6326

1/30〔木〕

講演会

令和6年度フレイル予防市民講演会
■6階交流ホール ■14:00～16:00
静岡市地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
tel.054-221-1623

2/1〔土〕

就職

転職・就職イベント シゴトフェア
■大ホール・海 ■11:00～17:00
(株)アルバイトタイムス
job_support@atimes.co.jp

2/2〔日〕

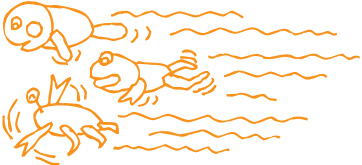
音楽

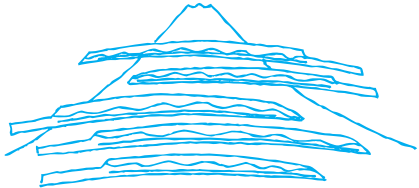
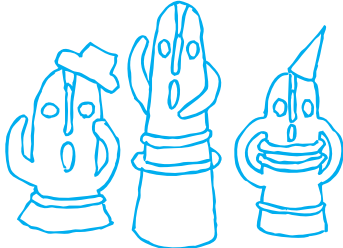
ウィーンの風
～ウィーン・アンサンブル
VIMCA
■中ホール・大地 ■15:00～
■一般3,000円 こども・学生1,000円
ウィーン・フィルをはじめ、ウィーンを代表す
るオーケストラのトップメンバーによるアン
サンブル。弦楽四重奏とフルート、クラリ
ネットの特別編成で本場ウィーンの音楽を
お届けします。県内で音楽活動に取り組む
中高生との共演で、ウィーンと静岡の音楽
交流も。

〈出演〉
ウィーン・アンサンブルVIMCA
静岡県立清水南高等学校・
同中等部管弦楽部(管弦楽)
音楽ナビゲーター:岡部武彦

〈曲目〉
モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」序曲
ハイドン:チェロ協奏曲第1番ハ長調より第1楽章
モーツァルト:クラリネット五重奏曲イ長調「シュトラウ」
J.シュトラウス2世:ポルカ「浮気心」、「観光列車」
J.シュトラウス2世:エジプト行進曲 他

グランシップチケットセンター
tel.054-289-9000

1/11[土] 15:00～ 野平一郎のバッハ:平均律クラヴィア曲集 ～ピアノ、チェンバロ、 ポジティブ・オルガンによる～ 静岡音楽館AOI 一般3,500円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	5ヶ条をすべて言える？ 静岡のソウルフード「静岡おでん」には5ヶ条なるルールがあります。「黒はんぺんが入っている」「黒いスープ」「串に刺してある」「青のり・だし粉をかける」「駄菓子屋にもある」。人と会う機会が多い季節。話のタネに。	2/22[土]～4/6[日] 10:00～17:00(最終入場16:30) 江戸の「ぜいたく屋」 一七澤屋と武蔵屋の極小雛飾り 佐野美術館 一般・大学生1,300円、小中高生650円 【問】佐野美術館 tel.055-975-7278
1/12[日]・26[日]・2/11[火・祝] 13:00～15:30受付(1回20分程度) わくわく科学工作 「どこまでいける？ すいすいアニマル」 静岡科学館る・くる 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960	開催中～1/28[火] 9:00～17:00 小泉八雲没後120年記念 第33回企画展示会 「不終(おわらず)の怪談 一怪談に魅入られた文豪たち」 焼津小泉八雲記念館 無料 【問】焼津小泉八雲記念館 tel.054-620-0022	3/2[日] 14:00～ 伊豆の国寄席 桂文珍・柳家花緑 東西落語会 伊豆の国市長岡総合会館(アクシスカつらぎ) 3,500円 【問】伊豆の国市観光文化課 文化振興係 tel.055-948-0225
	2024.12/21[土]～2/16[日] 9:30～17:00(最終入場16:30) 企画展 「カガクの『?』をカタチにする展 ～疑問を探究するっておもしろい～」 静岡科学館る・くる 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960	「ワルツ王」生誕200年！ 2025年はヨハン・シュトラウス2世生誕200年。ニュー イヤーコンサートを中心に、各地で演奏される機会が増 えそうです。戦争の敗北で意気消沈していたウィーンっ 子のために書いた「美しく青きドナウ」が有名です。
1/18[土] 14:00～15:00 怪談ばなし 「小泉八雲 冬の怪し語り」 出演:佐藤ふう氏(まどろみ奇談) 焼津小泉八雲記念館 無料 【問】焼津小泉八雲記念館 tel.054-620-0022	1/4[土]～3/16[日] 9:00～16:30 芹沢銈介の収集 日本篇 静岡市立芹沢銈介美術館 一般420円、高大生260円、小中学生100円 静岡市在住の70歳以上の方・小中学生(通学会)、未就学児無料 障がい者手帳の提示により本人及び同伴者1名無料 【問】静岡市立芹沢銈介美術館 tel.054-282-5522	3/14[金] 18:30～ 新人音楽家による演奏会 富士市文化会館ロゼシアター 1,000円 【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2500
1/24[金] 19:00～ エドゥアルド・フェルナンデス&福田進一 ギター・デュオ・リサイタル 静岡音楽館AOI 一般4,000円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	1/5[日] 15:00～ ニューイヤーコンサート 金子三勇士 ピアノ・リサイタル 焼津文化会館 一般2,000円、高校生以下1,000円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111	3/23[日] 14:00～ 劇団たんぼぼ「くろいりんごときいろいそら」 沼津市民文化センター 大人2,000円(当日500円増) 高校生以下1,500円(当日300円増) 【問】劇団たんぼぼ tel.053-461-5395
1/25[土]・3/15[土] 17:15～19:30(最終入館19:00) オトナ楽しむカガクカン 静岡科学館る・くる 無料(入館料別途) 対象:18歳以上 ※18歳未満の同伴不可 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960	1/10[金] 14:00～ 大井川寄席1月公演 三遊亭好志朗・三遊亭萬次郎初笑い寄席 大井川文化会館ミュージコ 500円 【問】大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811	中部 for Central
1/26[日] 14:00～ 今田篤ピアノリサイタル 藤枝市民会館 一般2,500円、高校生以下1,000円 ※未就学児入場不可 【問】藤枝市民会館 tel.054-643-3931	1/11[土] 14:00～15:30 企画展示会関連講座 「怪談入門講座 ～西洋と日本のお化け物語～」 講師:那須野絢子氏 焼津小泉八雲記念館 無料 【問】焼津小泉八雲記念館 tel.054-620-0022	開催中～1/13[月・祝] 10:00～17:00(最終入場16:30) 歌鳥風月のものがたり ～森でよむ短歌 生きものと語らう～ 駿府博物館 高校生以上600円、中学生以下・障がい者手帳ご提示で無料 【問】駿府博物館 tel.054-284-3216
1/31[金] 18:30～ 牛田智大ピアノ・リサイタル 大井川文化会館ミュージコ 3,500円 【問】大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811		開催中～1/19[日] 10:00～19:00 キース・ヘリング展 アートをストリートへ 静岡市美術館 一般1,500円、大高生・70歳以上1,100円、中学生以下無料 【問】静岡市美術館 tel.054-273-1515

1/18[土] 11:00～、14:00～ おとうさんといっしょ レオてつコンサート 沼津市民文化センター 3,000円 ※1歳以上有料(0歳児ひざ上鑑賞無料) 【問】オフセンター tel.03-5710-0631	1/7[火]～2/16[日] 10:00～17:00(最終入場16:30) 名刀ズラリ 佐野美術館 一般・大学生1,300円、小中高生650円 【問】佐野美術館 tel.055-975-7278	文化・芸術を もっと身近に 静岡で鑑賞初め
1/19[日] 17:00～ 第6回めまづガラコンサート ～小松亮太 アルゼンチン・タンゴの世界～ 沼津市民文化センター S席4,000円、A席3,000円、高校生以下1,000円 ※未就学児入場不可 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111		1月～3月のイベント情報
1/31[金] 19:00～ 三枝成彰のレクチャーコンサート クラシックは凄い! Vol.3 富士市文化会館ロゼシアター 2,500円 【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2500	1/7[火] 19:00～ ニューイヤー・コンサート2025 ウィーン・フォルクスオーバー交響楽団 富士市文化会館ロゼシアター S席12,000円、A席10,000円、B席8,000円 【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2500	東 部 for Eastern
2/2[日] 9:30～12:00 オリジナルだるま作り 富士山かくや姫ミュージアム 300円(要事前申込) 【問】富士山かくや姫ミュージアム tel.0545-21-3380	1/11[土]・19[日] 14:00～14:30 第61回企画展 ミュージアムトーク 富士山かくや姫ミュージアム 無料(申込不要) 【問】富士山かくや姫ミュージアム tel.0545-21-3380	開催中～1/19[日] 9:00～16:30 第61回企画展 「將軍綱吉の時代と富士」 富士山かくや姫ミュージアム 無料 【問】富士山かくや姫ミュージアム tel.0545-21-3380
2/8[土] 9:00～12:00、13:00～16:00 ミニミニはにわ作り 富士山かくや姫ミュージアム 100円(要事前申込) 【問】富士山かくや姫ミュージアム tel.0545-21-3380	1/11[土] 14:00～ ジェイコブ・コーラー ピアノソロ コンサート 三島市民文化会館 3,500円 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455	開催中～3/11[火] 10:00～17:00(最終入場16:30) 企画展 「井上靖と松本清張 作家の視点」 長泉町井上靖文学館 大人・大学生200円、高校生以下無料 長泉町在住・在勤の方無料 【問】長泉町井上靖文学館 tel.055-986-1771
	1/13[月・祝] 9:30～12:00 第61回企画展 フィールドワーク 「孝子五郎右衛門ゆかりの地を訪ねる」 富士山かくや姫ミュージアム 無料(要事前申込) 【問】富士山かくや姫ミュージアム tel.0545-21-3380	2024.12/19[木]～3/4[火] 9:00～17:00 開館50周年記念 50年の歩み展PART2 池田20世紀美術館 一般1,000円、高校生700円、小中学生500円 【問】池田20世紀美術館 tel.0557-45-2211
2/15[土] 16:00～ 水曜日のカンパネラプレミアムライブ2025 沼津市民文化センター 5,500円 ※3歳以上有料、2歳以下ひざ上1名まで無料 (座席が必要な場合有料) 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111	1/17[金] 18:30～ STEVE GADD BAND JAPAN TOUR 2025 三島市民文化会館 おとな300円、こども(中学生以下)150円 ※未就学児の膝上鑑賞は無料 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455	1/3[金] 11:30～、14:30～ お正月こども映画まつり それいけ! アンパンマン おもちゃの星のナンダとルンダ 三島市民文化会館 おとな300円、こども(中学生以下)150円 ※未就学児の膝上鑑賞は無料 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455
2/22[土] 13:00～ 第11回沼津ジャズフェスティバル 沼津市民文化センター 1,500円 ※未就学児入場不可 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111	「鯛」じゃないのに金目鯛 名前に「鯛」と付きますが、いわゆる鯛(真鯛)の間では なくキンメダイ科という独立した深海魚。鯛よりも深い水深 200～800mに棲んでいます。日本一の水揚げ量を誇る下 田で、金目鯛を使ったユニークなメニューを楽しんでみては。	1/4[土] 11:30～、14:30～ お正月こども映画まつり それいけ! アンパンマン ブルブルの宝探し大冒険! 三島市民文化会館 おとな300円、こども(中学生以下)150円 ※未就学児の膝上鑑賞は無料 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455

2/23[日・祝] 14:00～ メロープラザ ワンコインコンサート 箏が奏でるJAZZの世界 小島太郎&箏アンサンブル千鳥 袋井市メロープラザ 多機能ホール 500円 【問】袋井市メロープラザ多機能ホール tel.0538-30-4555	馥郁たる香りに包まれて 掛川城の守護神とされた龍尾神社。花庭園としても有名で、2月上旬から3月中旬は神社に隣接する庭園に約300本のしだれ梅が咲き誇ります。園内を歩きながら、たおやかな梅の花筆を堪能してみては。	1/19[日] 14:00～ 沢田蒼梧ピアノリサイタル 磐田市民文化会館「かたりあ」 一般3,000円、学生(高校生以下)1,000円 【問】(一社)磐田芸術協会 tel.0538-32-5418
3/2[日] 10:00～、14:30～ 演劇公演 「教えて、全次郎先生！ ～大日本報徳社ものがたり～」 菊川文化会館アエル 指定席2,500円(友の会2,300円)、学生1,000円 自由席2,000円、学生無料 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515	2/2[日] 14:00～ メロープラザ ワンコインコンサート 遠藤香奈子(ヴァイオリン)と 遠藤和歌子(ピアノ)のデュオコンサート 袋井市メロープラザ 多機能ホール 500円 【問】袋井市メロープラザ多機能ホール tel.0538-30-4555	1/25[土] 13:00～ ミュージカルALICE 磐田市民文化会館「かたりあ」 S席7,000円、A席5,000円、高校生以下2,500円 【問】磐田文化振興会 tel.0538-37-8551
3/7[金] 11:30～ レクチャーコンサートNo.218 踊りと共に魅せる南米の風 バンドネオン小松亮太×アルゼンチンタンゴ アクトシティ浜松 中ホール 一般2,500円、学生1,000円 【問】浜松市楽器博物館 tel.053-451-1128	2/7[金] 19:00～ 令和6年度 (公財)掛川市文化財団文化振興事業 掛川落語会「春風亭昇太・林家たい平」 掛川市生涯学習センター 4,000円(当日500円増) 【問】(公財)掛川市文化財団 tel.0537-62-2061	1/26[日] 14:00～ 龍山文化講演会 ニッポン、過去・現在・未来 講師・高橋源一郎(作家) 龍山森林文化会館 無料(入場整理券が必要) 【問】龍山森林文化会館 tel.053-968-0331
3/8[土] 13:30～ 「夏井いつき」句会ライブ 掛川市生涯学習センター 3,500円(当日500円増) 【問】掛川市生涯学習センター tel.0537-24-7777	2/8[土] 14:00～ 新春いわた寄席 磐田市民文化会館「かたりあ」 一般4,000円、中学生以下1,000円 【問】磐田文化振興会 tel.0538-37-8551	150年の歴史を誇る日本最古の小学校 1875年に建てられた、現存する日本最古の木造擬洋風小学校校舎、磐田市の旧見付学校。現在は教育資料の展示や授業風景を再現しています。徳川家康ゆかりの「伝酒井の太鼓」も展示され、注目を集めています。
3/8[土] 13:30～ 「夏井いつき」句会ライブ 掛川市生涯学習センター 3,500円(当日500円増) 【問】掛川市生涯学習センター tel.0537-24-7777	2/21[金] 14:00～ 歌声カルテットの「昭和歌謡」コンサート 掛川市美惑ホール 友の会2,200円、一般2,500円(当日500円増) 【問】掛川市美惑ホール tel.0537-23-6543	1/26[日] 14:00～ 第九コンサート2025 袋井市月見の里学遊館 一般1,800円、高校生以下900円 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400
3/16[日] 13:30～ 第9回アエル高校生吹奏楽フェスティバル 第25回中東遠地区高校吹奏楽部合同演奏会 菊川文化会館アエル 500円(当日300円増) 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515	2/22[土] 14:00～ ふれあいクラシック2025 きくがわにおんがくのたねをVOL.5 中野翔太(ピアノ)×田中拓也(サクソフォン) 菊川文化会館アエル 一般2,000円(友の会1,800円)、高校生以下500円 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515	1/26[日] 14:00～ 第九コンサート2025 袋井市月見の里学遊館 一般1,800円、高校生以下900円 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400
3/30[日] 14:00～ 劇団たんぼぼ「夏の庭」 菊川文化会館アエル 未定 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515	2/22[土] 18:30～ レクチャーコンサートNo.217 日本にわたったアンデスのうた ペルー南部アヤクチュ地方の暮らしの記憶 浜松市楽器博物館 一般2,500円、学生1,000円 【問】浜松市楽器博物館 tel.053-451-1128	2/1[土] 14:00～ ピアノ&チェロ デュオ・リサイタル Cello:水野優也 Piano:向田成人 茶の蔵かねもティーカルチャーホール 一般3,000円(当日500円増) 小学生～大学生(24歳以下)1,000円 【問】若いアーティストを育てる演奏会実行委員会 tel.0537-21-1893 高橋
3/30[日] 14:00～ 劇団たんぼぼ「夏の庭」 菊川文化会館アエル 未定 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515	2/22[土] 18:30～ レクチャーコンサートNo.217 日本にわたったアンデスのうた ペルー南部アヤクチュ地方の暮らしの記憶 浜松市楽器博物館 一般2,500円、学生1,000円 【問】浜松市楽器博物館 tel.053-451-1128	2/1[土] 14:00～ ピアノ&チェロ デュオ・リサイタル Cello:水野優也 Piano:向田成人 茶の蔵かねもティーカルチャーホール 一般3,000円(当日500円増) 小学生～大学生(24歳以下)1,000円 【問】若いアーティストを育てる演奏会実行委員会 tel.0537-21-1893 高橋
2/23[日・祝] 14:00～ 市民音楽劇 月のうさぎ 袋井市月見の里学遊館 一般1,500円、高校生以下500円 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400	2/23[日・祝] 14:00～ 市民音楽劇 月のうさぎ 袋井市月見の里学遊館 一般1,500円、高校生以下500円 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400	2/1[土] 14:00～ 愛の手紙を謡う ～剣幸 歌と朗読のミニライブ in 月見の里 袋井市月見の里学遊館 一般2,000円、小中学生1,000円 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400

県内イベント情報はWEBで
ご覧いただけます！

グランシップHPは
こちらのQRコードから



西部 for Western	2/22[土] 14:00～ 浅野祥 津軽三味線コンサート 焼津文化会館 一般3,000円、高校生以下1,000円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111	2/1[土]～3/26[水] 10:00～19:00 北欧の神秘― ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画 静岡市美術館 一般1,400円、大高生・70歳以上1,000円、中学生以下無料 【問】静岡市美術館 tel.054-273-1515
開催中～1/13[月・祝] 9:30～17:30(最終入場17:00) リト@葉っぱ切り絵展 ～香りとなのしむ葉っぱの小旅行～ 磐田市香りの博物館 一般500円、学生200円、小中学生100円 ※65歳以上は証明書提示で400円 【問】磐田市香りの博物館 tel.0538-36-8891	2/22[土] 15:00～ 日本歌曲の系譜Ⅲ ～中田喜直、三善晃とその時代、 そして現代へ～ 静岡音楽館AOI 一般3,500円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	2/1[土] 14:00～ 林家木久扇もうすぐ米寿記念！ 藤枝らくご会 藤枝市民会館 3,500円 【問】藤枝市民会館 tel.054-643-3931
開催中～2/9[日] 9:00～17:00 収蔵展 浜松ゆかりの現代日本俳人の系譜展 ～もしもコンサート中に地震が起きたら～ 浜松文芸館 無料 【問】浜松文芸館 tel.053-453-3933	2/27[木] 13:30～ 避難訓練コンサート ～もしもコンサート中に地震が起きたら～ 静岡音楽館AOI 無料(要申込) 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	2/1[土]～4/15[火] 9:00～17:00 常設展示Ⅱ 焼津小泉八雲記念館 無料 【問】焼津小泉八雲記念館 tel.054-620-0022
1/11[土]～5/13[火] 9:30～17:00 企画展 「海をわたった楽器たち 多彩な文化の地 ラテンアメリカの旅」 浜松市楽器博物館 入館料のみ(大人800円、高校生400円、 中学生以下・70歳以上・障がい者手帳所持者は無料) 【問】浜松市楽器博物館 tel.053-451-1128	3/8[土]・9[日] 12:00～16:00(最終入場15:30) サイエンスピクニック 静岡科学館る・くる 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960	2025年は巳年！ 島田市の大井神社には古来より白蛇伝説が伝わり、神様の化身である白蛇にちなんだお守りを授けています。白蛇をかたどった「白蛇守り」と金錦袋で包まれた「白蛇金守」の2種類。2025年が良い年でありますように。
1/11[土]～5/13[火] 9:30～17:00 企画展 「海をわたった楽器たち 多彩な文化の地 ラテンアメリカの旅」 浜松市楽器博物館 入館料のみ(大人800円、高校生400円、 中学生以下・70歳以上・障がい者手帳所持者は無料) 【問】浜松市楽器博物館 tel.053-451-1128	3/16[日] 14:00～ Spring Concert 藤枝市民会館 1,000円 ※未就学児入場不可 【問】藤枝市民会館 tel.054-643-3931	2/7[金] 19:00～ ミュージコロビーコンサートVol.86 フルーツアンサンブル 大井川文化会館ミュージコ 無料 【問】大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811
1/12[日] 13:30～ 「挑戦」～大前光市と愉快的仲間たち～ 袋井市月見の里学遊館 一般2,000円、高校生以下1,000円 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400	3/20[木・祝] 14:00～ オルガン¥500コンサート スプリング・コンサート 阿部翠 静岡音楽館AOI 500円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	2/7[金] 19:00～ ミュージコロビーコンサートVol.86 フルーツアンサンブル 大井川文化会館ミュージコ 無料 【問】大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811
1/13[月・祝] 16:00～ 文化庁劇場・音楽堂等における 子供舞台芸術鑑賞体験事業 宮沢和史・上妻宏光・塩谷哲 MIYA to AGA-SHIO コンサート2025 掛川市生涯学習センター 一般6,600円、子ども無料、子ども同伴者半額席3,300円 【問】掛川市生涯学習センター tel.0537-24-7777	3/23[日] 10:00～15:30受付 おもしろ科学フェスティバル 静岡科学館る・くる 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960	2/16[日] 14:00～15:30 英語で読む小泉八雲 Vol.5 「Otokichi's Daruma ～乙吉のだるま」 講師:又木克昌氏 焼津小泉八雲記念館 無料 【問】焼津小泉八雲記念館 tel.054-620-0022
1/19[日] 13:30～15:20 小和田哲男氏講演会 「堀川城の戦い ～家康には珍しい皆殺し作戦～」 みをつくし文化センター 1,200円(当日500円増) 【問】みをつくし文化センター tel.053-523-3116	田沼家ゆかりの地をめぐるう 2025年に注目を集めそうな大名といえば田沼意次。相良藩主時代には老中になで昇りつめました。牧之原市史料館をはじめ、仙台河岸、般若寺など、意次や田沼家ゆかりの地をめぐり、歴史ロマンに浸ってみませんか。	2/16[日] 14:00～ 焼津寄席 三遊亭好楽・桂文珍 東西会 焼津文化会館 4,000円(当日500円増) 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111

企画展

ぐるり富士山旅めぐり

ー肉筆鳥瞰図にみる富士山周辺の観光開発ー

大正時代から昭和初期にかけて、観光地の発達とともに数多く生み出された鳥瞰図。鳥の目で眺めたような視点からダイナミックに観光地や市街地を描いた鳥瞰図の先駆者である吉田初三郎や、中村治郎をはじめとする弟子たちによる肉筆鳥瞰図から富士山周辺の観光開発の姿を探ります。

開催中～1/26[日]まで

9:00～17:00 ※最終入場は閉館の30分前

休館日12/27[金]～12/31[火]・1/21[火]

静岡県富士山世界遺産センター2階 企画展示室

料金(常設展観覧料):

一般:300円、団体(有料観覧者20名以上):200円

15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等無料(要証明)

※本企画展は常設展観覧料でご覧いただけます。

〈鳥瞰図とは〉

飛ぶ鳥の目からみたように見える図法的一种で、明治以降の観光案内図で多く描かれるようになりました。



中村治郎 国立公園河口湖観光鳥瞰図 中村家蔵

鳥瞰図のパイオニア、
吉田初三郎の描いた富士山

大正の広重とも呼ばれ、初三郎式と呼ばれる独特の鳥瞰図スタイルを編み出した吉田初三郎の富士山を描いた肉筆原画を紹介し、あわせて、自ら手がけた工芸品などから、初三郎の富士山に対する想いを探ります。



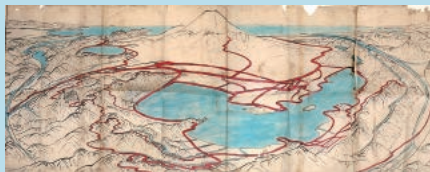
吉田初三郎 丹那隧道開通之熱海温泉 堺市博物館蔵 ※複製品を展示



倉石翠波か 東京駅ホーム壁画原画 当館蔵

最後の鳥瞰図絵師、
中村治郎が描いた富士山

吉田初三郎の画風を最も良く受け継いだとされる中村治郎。独立後は、静岡・神奈川での活動を経て、昭和41年に亡くなるまで、河口湖を拠点に山梨・長野の鳥瞰図を数多く残しています。中村治郎の肉筆原画に加え、下図やスケッチなどから鳥瞰図制作の実態を紹介。



中村治郎 国立公園河口湖観光鳥瞰図下図 中村家蔵

ぐるり富士山旅めぐり〈関連イベント〉ギャラリートーク

12/22(日)10:30～・1/1(水・祝)・12(日)・26(日)10:30～、14:00～ ※いずれも30分程度、事前申込不要です。直接企画展示室にお越しください。

肉筆原画の
鮮やかさや迫力
は必見です!

大正時代から昭和初期にかけて
鳥瞰図絵師たちが鎚を削って
生き生きと表現した富士山、
そして周辺の観光地の姿を
お楽しみください。

井上 卓哉 准教授

第5回 絶景・秀景富士山世界遺産写真コンテスト入賞作品展
2月22日[土]～3月23日[日] ※休館日3/18(火) 静岡県富士山世界遺産センター2階 企画展示室

静岡県富士山世界遺産センター、静岡県観光協会、NHK静岡放送局が主催する「絶景・秀景富士山世界遺産写真コンテスト」の応募作品の中から、「県内で撮影した富士山写真(絶景しずおか富士山部門)」、「全国に400座以上あると言われるふると富士(見立て富士)の写真(秀景ふると富士部門)」の入賞作品を展示します。



第4回絶景しずおか富士山部門グランプリ「高原の朝」
島野孝一氏(撮影地:猪之頭(富士宮市))



第4回秀景ふると富士部門グランプリ「春風に吹かれて」
島山奈津美氏(南部富士・岩手山、撮影地:岩手県)

企画展

全地球史

Whole history of the Earth

私たちが暮らす地球は、どのように形作られてきたのでしょうか。そこにはまだ多くの謎が残されています。最新の研究成果が解き明かす地球の形成史、その壮大な歴史ストーリーを、世界各地で収集された先カンブリア時代(太古代～原生代、40億～6億年前)の貴重な岩石標本とともに紹介します。

開催中～3/23[日]まで 10:00～17:30
※最終入館17:00

ふじのくに地球環境史ミュージアム 企画展示室1.2

観覧料:一般600円(団体500円)

小学生以上大学生以下・70歳以上300円(団体200円)

※常設展も併せてご覧いただけます。

協力:東京科学大学地球史資料館
産業技術総合研究所地質調査総合センター
静岡大学理学部川本研究室

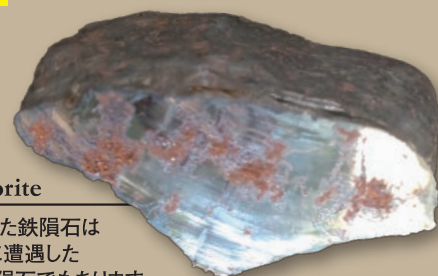
酸化からわかる 地球環境



縞状鉄鉱層 Banded Iron Formation

縞状鉄鉱層は地球が「酸素の星」になったことを物語る地層です。

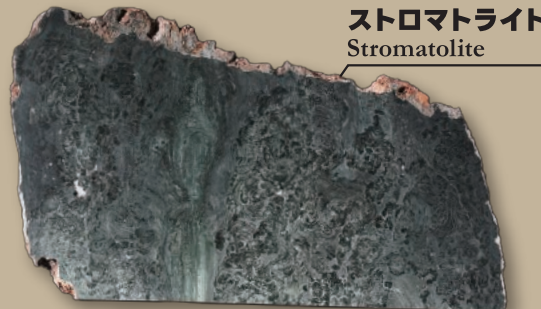
地球はいつできたの？



鉄隕石
Iron meteorite

地球に飛来した鉄隕石は
人類が最初に遭遇した
鉄と思われる隕石でもあります。

昔からあったの？
酸素は



ストロマトライト
Stromatolite

地球を酸素豊かな惑星に変えたストロマトライトは
現在も地球上に存在しています。

冥王代	太古代(始生代)				原生代			顕生代	
(億年前)	原太古代	古太古代	中太古代	新太古代	古原生代	中原生代	新原生代	古生代	中生代
45.5	40	36	32	28	25	16	10	5.41	0.66
地球形成	アカスタ片麻岩	イスア炭素質片麻岩	最古の生物化石 マールバー堆積岩	クリバービル堆積岩	ポングラ氷河期	サドベリークレーター ガンフリントチャート	超大陸スーパー・コロンビア	カンブリア大爆発	恐竜の時代
ジャックヒルズ 地球形成					大規模縞状鉄鉱層 大酸化事変	最古の真核生物 ヒュロニアン氷河期	最古の多細胞生物 マリノアン氷河期	魚類の時代	超大陸パンゲア

石が語る歴史

わかります!!

日本にはほとんど分布していない
古い岩石を調べることによって、
地球環境のでき方が分かってきました。
そうした石が語る歴史に耳を澄ますと、
現在の地球環境問題や未来の地球が
みえてくるのかもしれません。

中西 利典

ふじのくに地球環境史ミュージアム教授

〈講演会〉 ●参加費:観覧料のみ ●参加人数:100名まで 要予約

40億年の地球環境変動と生物進化

上野 雄一郎(東京科学大学教授)
1月18日[土] 14:00～15:30

長い時間におよぶ地球環境と生物の共進化について、
岩石記録の証拠から分かっている地球環境史を解説します。

地球史プロジェクト
私が体験したグリーンランドでの破格の野外調査

増田 俊明(静岡大学名誉教授)
2月8日[土] 14:00～15:30

全地球史を解明するために、1990年の夏にグリーンランドで
行われた野外調査に参加した研究者がその貴重な体験を
お話しします。



申込用QRコード



申込用QRコード



静岡県富士山世界遺産センター

富士宮市宮町5-12 電話番号/0544-21-3776 開館時間/9:00～17:00(最終入館16:30)

休館日/毎月第三火曜日・施設点検日、年末

常設展観覧料/一般300円、団体(有料観覧者20名以上)200円/人、15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等(要証明)無料



HPIはこちらから



ふじのくに
地球環境史
ミュージアム
Museum of Natural and
Environmental History, Shizuoka

ふじのくに地球環境史ミュージアム

静岡市駿河区大谷5762 電話番号/054-260-7111 開館時間/10:00～17:30(最終入館17:00)

休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)、年末年始(12/27～1/3)

観覧料/大人300円、団体(20名以上)200円/人、大学生以下・70歳以上・障がい者手帳をお持ちの方と
その付添者1名は無料。キッズルームと図鑑カフェは無料でご利用いただけます。



HPIはこちらから

石崎光瑠

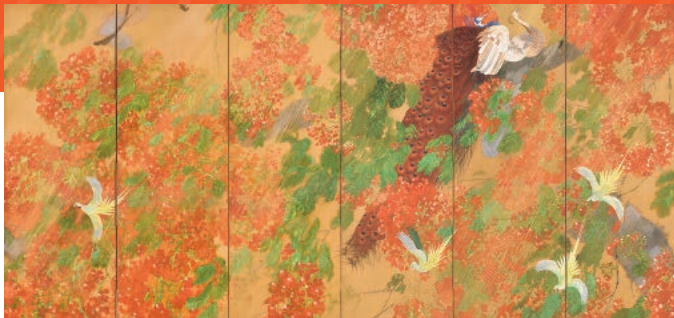
ISHIZAKI Koyo

The Elegant World of Flower and Bird Paintings

いし ざき こう よう

石崎光瑠(1884~1947)は、明治後期から昭和前期にかけて京都で活躍した日本画家。絢爛豪華な花鳥画を得意としました。光瑠の初期から晩年に至る代表作を一挙公開し、画業の全貌を紹介する、

初の大規模回顧展!!



《燦雨》(左隻)大正8年(1919)南砺市立福光美術館

突然のスコールに驚き飛び交うインコと、声をあげる孔雀。金を多用した華やかな画面は、光瑠独自の豊麗で濃密な世界をよく表しています。



《白孔雀》(右隻)大正11年(1922)大阪中之島美術館

樹木の深い緑と、レース状の羽を広げる孔雀の白。色彩の対比が印象深い作品です。熱帯風物をテーマとした一連の屏風のうちの一点。

高野山 金剛峯寺から襖絵制作の依頼を受けた光瑠は、取材のためインドを再訪し、満を持してこの仕事に取り組みました。通常非公開の貴重な襖絵を間近に見る好機です。(全20面を前後期で展示替え)

金剛峯寺奥殿《紅雉の間》※襖絵は石崎光瑠《紅雉》昭和9年(1934)金剛峯寺蔵(前期展示)

若冲への憧れ 絢爛の花鳥画

2025 1/25(土)~3/23(日) 会期中、一部展示替えがあります。
[前期] 1/25(土)2/24(月・休)
[後期] 2/26(水)~3/23(日)

[休館日]毎週月曜日 2/24(月・休)は開館し、翌日休館 [開館時間]10時~17時30分(展示室への入室は17時まで)

[観覧料]一般1,400円(1,200円)、70歳以上700円(600円)、大学生以下無料

※()内は前売および20名以上の団体料金。※収蔵品展、ロタン館もあわせてご覧いただけます。※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

[主 催]静岡県立美術館、静岡新聞社・静岡放送 [企画協力]毎日新聞社

石崎光瑠って こんな人

石崎光瑠肖像
画像提供: 南砺市立福光美術館
出身は富山県。19歳で京都に出て日本画の大家・竹内栖鳳に学びました。インド旅行を契機として、色彩あふれる華麗な花鳥画の世界を打ち立て、画壇での地位を確立します。写生に打ち込むとともに古画にも関心をもち、研究熱心だった光瑠。ひたむきな研鑽を続け、やがて洗練と調和をきわめた独自の世界へと至りました。

登山家としての顔

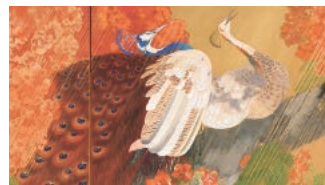
光瑠は、民間パーティーとして初めて剎岳登頂に成功するなど、近代日本登山史にも大きな足跡を残しました。展示では登山にまつわる作品もご覧いただけます。



《立山写生 巻一》(部分)明治40年(1907)富山県美術館(前後期で場面替え)

インド旅行で開眼

大正5年(1916)から翌年にかけて、光瑠はインドを訪れ、熱帯の風物に直接触れることで新たな花鳥画の世界を切り開きました。代表作《燦雨》《白孔雀》もその華々しい成果です。



《燦雨》(部分)大正8年(1919)南砺市立福光美術館

若冲への憧れ

京の花鳥画家の大先輩・伊藤若冲をこよなく愛し、熱心に研究した光瑠。埋もれていた若冲の代表作を見出して世に紹介するなど、近代における若冲再評価の先駆けにもなりました。



《鶏之図(若冲の模写)》(右幅)大正15年(1926)富山市郷土博物館(後期展示)

伊藤若冲

《樹花鳥獸図屏風》を特別展示!



石崎光瑠展の開催を記念して、光瑠が憧れた伊藤若冲の屏風を収蔵品展で特別展示します。時代を超えた競演をお見逃しなく。

伊藤若冲《樹花鳥獸図屏風》(右隻)静岡県立美術館

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
企画総務課Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767
学芸課Tel.054-263-5857
ウェブサイト…<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

SPAC秋→春のシーズン2024-2025 #3『メナム河の日本人』

SPAC
Interview

今井朋彦(いまい・ともひこ)

1992年に文学座座員となり、2020年に退団。俳優として数多くの舞台に出演するほか、映像の分野でも精力的に活動中。また演出家としても、『パンドラの鐘』(野田秀樹作)、『Noises Off』(マイケル・フレイン作)、『セチュアンの善人』(ペルトルト・プレヒト作)、『メモリアル』(松原俊太郎作)、『ねー』(小野晃太郎作)などを手掛けています。SPACでは2010年・13年に『わが町』(ソートン・ワイルダー作)を演出し、深い感動を呼んだ。



世界の名作戯曲を、現代の演出でお届けするSPACのシーズンプログラム。1月から3月にかけて静岡芸術劇場で上演される『メナム河の日本人』は、江戸時代のはじめ静岡からタイへ渡った英雄・山田長政の生涯を描いた壮大な歴史活劇。コロナ禍による上演中断を経て5年ぶりの再演を果たす。本作の演出を務める今井朋彦に話を聞いた。

——再演が決まっつの率直な気持ちをお聞かせください。
2020年の初演が公演期間半ばで中断になったのは残念でしたが、創作自体にはとても満足していたので、どこかでひとつ完結した感覚がありました。今回再演の話をいただいたので、同じ作品を上演するのだけれど、新たな創作に向かう気持ちが強かったと思います。4年以上が経ったということもあって、ほどほどに忘れていくことが多く、そのあたりもうまく利用しながら新鮮に臨めそうな気がしています。

——この戯曲は、静岡出身の山田長政を主人公としながら、遠藤周作の宗教観も投影されています。

主人公は誰かといわれれば「山田長政」になるのだと思います。ただそれは彼が起点になることで、周囲の人物が生きたりと描かれ、作品の厚みが増すという意味での「中心」ということかな、と考えています。「人間そのもの」や「どう生きるのか」といった人生観であったり、「何を信じるのか」といった宗教観も本作の「主人公」と言えるかもしれません。実際に多民族国家であつたという当時のアユタヤを舞台に、さまざまな人間、



8月に行われた稽古の様子

さまざまな価値観をちりばめ、それらを「山田長政」を軸としてダイナミックに織り上げたこの戯曲は、まさにテキスト(text)織られたもの(と呼ぶに相応しいと感じています)。
——最後にメッセージをお願いします。
山田長政がアユタヤという国で、どのように生き、どのようにのし上がっていったのかを描きながら、同時に異国にうごめく多様な人々の多様なものの見方にも触れ、長政がどう変わっていくのか、彼が周囲にもたらしたものは何だったのかなど、さまざまな見どころを含んだ作品です。見終ったあとも、皆さんの中にいつまでも残るような「種火」をおこしてくれる舞台になると思います。ぜひ劇場からその「種火」を持ち帰っていただきたいと願っています。

チケット好評販売中!

メナム河の日本人

演出: 今井朋彦
作: 遠藤周作

王都アユタヤの日本人傭兵隊長である山田長政は、王位争いの混乱に乗じて自らの理想を実現しようと野心を燃やす。同じく理想を追い求め、禁教の嵐が吹き荒れる日本への帰国を目指す神父・ペトロ岐部との出会いを経て、長政がたどり着く先とは――。

2025年 1/18[土]・19[日]・2/15[土]・16[日]
3/1[土]・2[日] 各日14:00開演

会場／静岡芸術劇場

チケット料金

● 一般: 4,200円 ● SPACの会 一般: 3,500円
● U25・学生割引: 2,000円 [25歳以下および大学生・専門学校生] / 1,000円 [高校生以下]

〈チケットのご予約・お問い合わせ〉
SPACチケットセンター

【電話】054-202-3399(10:00~18:00/休業日12/29~2025年1/4、1/20、2/13を除く)
【ウェブ】<https://spac.or.jp/ticket>

主催・製作: SPAC・静岡県舞台芸術センター ふじのくに芸術祭共催事業
後援: タイ国政府観光庁、静岡市、静岡市教育委員会、静岡日タイ協会、静岡浅間通り商店街振興組合
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁

ふじのくに芸術祭

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER
スパック= 静岡舞台芸術センター

公演やアウトリーチ活動の最新情報は、SPAC公式サイトをご覧ください。

<https://spac.or.jp>



公式アカウント

GRANSHIP こどもたちのための文化芸術プロジェクト

こちらのプロジェクトでは、こどもたちのための取り組みが将来に渡り継続的に実施できるよう、静岡県内の企業の皆様にご協力をいただいています。

未来が
はじまる
場所になる。



静岡銀行

2420036

清水港の歴史を学ぼう



フェルケル博物館

〒424-0943 静岡市清水区港町2-8-11
TEL 054-352-8060 開館時間 9:30~16:30
休館日 月曜日(ただし、祝祭日・振替休日の場合は開館)
入館料 大人400円 中高生300円 小学生200円
(土曜日と「子どもの日」「海の日」は小・中学生無料)



Instagram



鈴与株式会社

(公財)静岡県文化財団では、「こどもたちのための文化芸術プロジェクト」にご協賛いただける企業を募集しています。
協賛内容の詳細については、グランシップホームページをご覧ください。

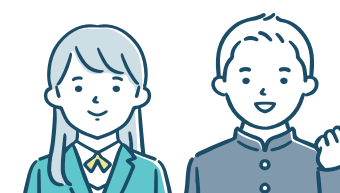


こどもたちのための
文化芸術
プロジェクトとは?

(公財)静岡県文化財団は、静岡県の未来を担うすべてのこどもたちが、多彩な文化・芸術を体験できるよう、様々な事業に取り組んでいます。

こども・学生のチケット料金は1,000円

グランシップ企画事業は、こども・学生料金(28歳以下の学生)を1,000円とし、こどもたちが多彩な文化芸術に触れるきっかけとしています。



中高生鑑賞プラン・交通費支援制度

中高生が学校やクラス、部活動の団体等で教員の引率の元、グランシップ企画事業を鑑賞する際は、こども・学生料金を800円とし、また、学校からグランシップ(公演会場)までの交通費を全額負担。会場までの距離に関わらず県内の中高生が様々な公演を鑑賞できる環境づくりに取り組んでいます。



グランシップ子どもアート体験!学校プログラム

小中学生等が多彩な文化芸術に触れることができるよう、国内外の第一線で活躍している実演家や静岡ゆかりのアーティストとともに、県内の小中学校、特別支援学校等に出向き、文化・芸術を届けるアウトリーチプログラムを実施しています。



ひとり親家庭への公演招待

こどもたちが様々な文化・芸術に触れることにより、想像力を育み、世界を広げ、心豊かな生活の一助となる取り組みを行っています。令和6年度より新規実施。

《協賛企業》

(株)静岡銀行、(株)アイエイアイ、鈴与(株)、(株)アイワホールディングス、(株)静岡新聞社・静岡放送(株)



会費
無料

グランシップ友の会 会員募集中!

特典
1

ポイントがたまる・使える

グランシップ主催公演のチケットをご購入いただくと、購入額の5%相当のポイントがつきます。

※一部対象外公演あり ※他の割引サービスとの併用はできません。(こども・学生券、ペア券、親子券、通し券、直前割引にはポイントはつきません)
※ポイント有効期限は、最後にチケット購入があった日から2年間。

チケット購入時のポイント利用(100ポイント単位)

100ポイント単位(1ポイント=1円)で
次のチケット購入分よりご利用いただけます。

グランシップ1階カフェ・レストランで使える
食事券に交換(500ポイント単位)

500ポイント単位(1ポイント=1円)でグランシップ
1階カフェ・レストランの食事券に引換えできます。

特典
2

チケット先行予約・購入

グランシップ主催公演のチケットを一般発売に先駆け、優先的にご予約・ご購入いただけます。
無料の利用登録で、便利なWEBでのチケット予約も可能です。※一部対象外公演あり

特典
3

催事情報のご案内

ご希望の方にグランシップの公演やイベントを掲載した情報誌やチラシをお届けします。

特典
4

提携店での割引サービス

会員証または会員ページログイン画面の提示により、各提携店のサービスが会員特別価格でご利用いただけます。



ご入会方法

専用の申込書、WEBフォームからお申込みができます。

※グランシップWEBサイト上に記載の「グランシップ友の会」個人会員規約をご確認の上お申し込みください。

WEBサイトは
こちらから



入会受付お問合せ

グランシップチケットセンター TEL 054-289-9000

(営業時間10:00~18:00/休館日除く)

PRESENT 『GRANSHIP』vol.40 読者アンケートプレゼント

ADAM at サイン入りポーチ&アクリルコースター

『GRANSHIP』vol.40のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、2025年2月23日に開催する「静岡JAM2025」に出演するADAM atさんのサイン入りポーチ&アクリルコースター」をセットで3名様にプレゼントいたします。グランシップHPの申込フォーム、またはメール、郵便はがきで、住所・氏名・性別・職業・電話番号・アンケートのお答えをご記入の上、下記までお送りください。



3名様

[1] 今号でよかった記事は? [2] 本誌へのご意見・感想をお聞かせください。
アンケート内容は、今後の誌面作りの参考とさせていただきます。
尚、頂いた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用します。
締切は2025年2月23日(当日消印有効)です。

官製はがき宛先

〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号
グランシップマガジン『GRANSHIP』vol.40 プレゼント係

メール宛先

info@granship.or.jp
(件名に、『GRANSHIP』vol.40
読者アンケート係 とご記入ください)

グランシップHPの専用申込フォームはこちら



GRANSHIP SUPPORTER



グランシップでは、スタッフと共にグランシップの運営を支えるボランティアスタッフ約100名が、「グランシップサポーター」として活躍中! 次年度の新規サポーター募集に合わせて開催した「グランシップサポーター写真展」の様子をレポートします。

11/4(月・休)~11/10(日)、6階展示ギャラリー3で「グランシップサポーター写真展」を開催。撮影サポーターがカメラに収めた令和5年度の公演写真を展示しました。また、今回はイベント・広報サポーターが活動する姿を撮影した写真を展示し、各部門の業務をわかりやすく紹介しました。撮影サポーターが各自選んだ場所からグランシップを撮影した「グランシップより愛をこめて」のコーナーでは、撮影者によって様々な表情をみせるグランシップの姿に、訪れた人たちは見入っていました。

編集
後記

県内の子どもたちへ音楽を届けるグランシップ登録アーティストとして活動した第1期生のみなさん。座談会では、活動中のやりがいや苦労したことなどの話題で盛り上がり、話が尽きない様子でした。これまでの演奏家としての活動に登録アーティストとしての3年間の経験が加わり、さらに飛躍していく彼らの今後の活動にご期待ください。

グランシップを飛び出して、きみ住むまちへ!アウトリーチ活動



グランシップ 子どもアート体験! 学校プログラム

たくさんの子どもたちに本物の芸術を
お届けする、アウトリーチ活動を
実施しています。

グランシップ 登録アーティスト ミニコンサート

2024年10月15日(火)
菊川市立横地小学校 102人
出演:フィオーリーネ(五味由利子、宮田優)

静岡県文化財団・グランシップでは、県民の皆様には多彩な文化芸術に触れる機会を多く持っていただくため、国内外の芸術家や静岡ゆかりのアーティストによるコンサートやワークショップなどのアウトリーチ活動を、県内各地の学校や文化施設で積極的に実施しています。今回は、第2期グランシップ登録アーティストとして活動する声楽デュオ「フィオーリーネ」の五味由利子さん(ソプラノ)、宮田優さん(メゾソプラノ)が、菊川市立横地小学校でコンサートを開催しました。

コンサートが始まると、演奏者の息遣いや表情を間近で感じながら、真剣なまなざしで演奏に引き込まれる子どもたち。「歌詞に音楽がつくと、どんなふうに聴こえるかな? 歌詞と表情に注目して聴いてみよう。」というフィオーリーネからの問いかけで、情景や物語が音楽ではどのように描かれているのかをそれぞれに思い浮かべながら聴きました。コンサートでは日本語の歌詞だけではなく、イタリア語やドイツ語など外国語の歌も歌唱。外国の音楽や文化に触れる機会となりました。

他にも、フィオーリーネと子どもたちが合唱曲と一緒に歌うコーナーもあり。低学年は「にじ」を、高学年は「Believe」を歌いました。



「体を柔らかくして体の中に空気をたくさん入れよう」、「口を縦に開けて歌声を体の奥まで響かせよう」と歌い方のアドバイスを受けて、音楽室は子どもたちの伸びやかな歌声に包まれました。

最後に、フィオーリーネから子どもたちに「歌は言葉だけでは伝えきれない感情や気持ちを伝えてくれる。人と人とを繋げてくれるのが音楽です」とメッセージを伝えました。鑑賞するだけではなく、演奏者と近い距離で自分から音楽に参加した体験は、子どもたちにとって新しい音楽や文化との出会いとなったようです。

これからもグランシップは、県内各地の子どもたちが文化芸術に触れる体験を届けていきます。

声の響き方や高さで、
悲しみ、嬉しさ、喜び
などを表していた。(児童)

表情や手の表現からも感情が伝わってきた。(児童)

演奏は迫力があり、
人の心を揺り動かす
ものがあったと思った。
(先生)

外国語の色々な歌が聴けてよかった。(児童)